

四国

安定供給・需要拡大へ広がる展開

四国のなかでは木材消費地として知られる香川県で、ようやく県産材活用の取り組みが動き出した。他県では将来的な住宅需要の縮小を見す中大型物件の木造化に向けてCLTほかトラス構法を提案、あるいは土木資材として県産材を採用するなど活用の多様化が積極的に進められている。一方、需要拡大だけでなく、木材産業や林業にとつての課題である人材不足に対し、林業学校の開設も注目される。

県産材が利用適齢期に

県産材使った施設続々誕生

香川県

香川県の2016年の写真掲載等、県産材の素材生産量は4000の普及活動に協力する0立方材(農林水産省)を条件に、15立方材を1立方材を下は、1立方材に付き4万円が加算されて支給

このように香川県内とが挙げられる。県内イブスになった。また、昨年は第41回全国育樹祭が開かれ、1970年代に松食い約5000人が参加し、虫の被害により検へのた。会場となった満濃

池森公園(仲多度郡まんのう町)では、皇太子が着席した建物に県産材集成材を使用した。CLTは、全に。さらに、会場に設置したベンチ600脚、長さ9・2×幅1・5材のCLTパネルを5枚のCLTパネルを使用。弛まないように張弦を採用する側の厚みは150。張弦を入れない側は厚さ21を採用している。



満濃南小学校放課後児童クラブの外観

建築から土木へと用途拡大

地盤改良工事に県産杉

高知県

高知県立 年秋に竣工した同林業 林業大学校 敷地面積は3 棟(351平方材)に建設した本庁舎が耐震性の不備や老朽化等により、新庁舎を建設する。完成は2019年6月の予定だ。今回の建設では地盤改良工事に丸太打設工事)で県産杉間伐材1方5700本を積極的に活用。大規模建築物では全国初となる。新庁舎の規模は約2万8000平方材。地上5階建て(1部6階)を★

高知県立 年秋に竣工した同林業 林業大学校 敷地面積は3 棟(351平方材)に建設した本庁舎が耐震性の不備や老朽化等により、新庁舎を建設する。完成は2019年6月の予定だ。今回の建設では地盤改良工事に丸太打設工事)で県産杉間伐材1方5700本を積極的に活用。大規模建築物では全国初となる。新庁舎の規模は約2万8000平方材。地上5階建て(1部6階)を★

高知県立 年秋に竣工した同林業 林業大学校 敷地面積は3 棟(351平方材)に建設した本庁舎が耐震性の不備や老朽化等により、新庁舎を建設する。完成は2019年6月の予定だ。今回の建設では地盤改良工事に丸太打設工事)で県産杉間伐材1方5700本を積極的に活用。大規模建築物では全国初となる。新庁舎の規模は約2万8000平方材。地上5階建て(1部6階)を★

4県が動き出す

香川県の2016年の写真掲載等、県産材の素材生産量は4000の普及活動に協力する0立方材(農林水産省)を条件に、15立方材を1立方材を下は、1立方材に付き4万円が加算されて支給



建築中の高知県立林業大学校

高知県立 年秋に竣工した同林業 林業大学校 敷地面積は3 棟(351平方材)に建設した本庁舎が耐震性の不備や老朽化等により、新庁舎を建設する。完成は2019年6月の予定だ。今回の建設では地盤改良工事に丸太打設工事)で県産杉間伐材1方5700本を積極的に活用。大規模建築物では全国初となる。新庁舎の規模は約2万8000平方材。地上5階建て(1部6階)を★